大館市農業委員会総会議事録

令和7年1月15日

大館市農業委員会総会議事録

1. 開会の日時 および場所	日 時	令和7年1月15日（水）午後14時00分 開会			
	場 所	比内総合支所 3階 大会議室			
2. 出席委員の氏名（16名）					
1 番	高坂 千悦	8 番	安部 幸美	17 番	畠山 繁司
2 番	渡邊 久雄	9 番	斎藤 重春	18 番	藤盛 久登
3 番	岩澤 トシ子	10 番	石山 元一		
4 番	富樫 俊昌	12 番	嶋田 久美子		
5 番	伊藤 昇	14 番	渡邊 久留美		
6 番	菅原 一成	15 番	浅利 瑞穂		
7 番	小林 大樹	16 番	阿部 重信		
3. 欠席委員の氏名（ 3名）					
11 番	小畑 美恵子	13 番	藤原 信雄	19 番	小畑 純市
4. 委員以外の出席者 職氏名		なし			
5. 出席した事務局 職員の職氏名	局 長	渡辺 孝義			
	係 長	工藤 学			
6. 議事録署名委員	1 番	高坂 千悦		2 番	渡邊 久雄
7. 書記	工藤 学				

報 告 ・ 議 案

報告第 1 号	賃貸借の合意解約通知について
報告第 2 号	地目変更登記に係る登記官からの照会について
議案第 1 号	賃借権設定及び使用貸借の権利設定の許可申請について (農地法第 3 条)
議案第 2 号	所有権移転による許可申請について (農地法第 3 条)
議案第 3 号	許可申請について (農地法第 4 条)
議案第 4 号	使用賃貸借の許可申請について (農地法第 5 条)
議案第 5 号	農用地利用集積計画の決定について (利用権設定)
議案第 6 号	農用地利用集積等促進計画 (案) に対する意見聴取について

係長

予定より早いですが、皆さんお揃いですので、ただ今より大館市農業委員会総会を開催いたします。

開会に先立ちまして、本日の出席委員は定足数に達していることをご報告いたします。

はじめに、会長より挨拶をお願いいたします。

会長

— 挨拶 —

係長

会長ありがとうございました。

続きまして、議案審査に入ります。大館市農業委員会総会会議規則第4条の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、会長に議事の進行をよろしくお願いいたします。

議長

それでは、暫時議長を務めさせていただきます。

大館市農業委員会総会会議規則第16条第2項の規定により、議事録署名委員の選任が必要となります。当席より指名いたしますが、ご異議ございませんか。

～異議なしの声多数あり～

議長

ご異議ないようですので、指名いたします。

議席番号1番 高坂 委員、議席番号2番 渡邊 委員にお願いします。

議長

それでは、報告に入ります。

業務報告から報告第2号まで一括して事務局から説明願います。

局長

事務局よりご説明いたします。1ページをご覧ください。

はじめに、本会主催以外の会議等の出席であります。12月23日(月)秋

田県農業会議 第105回常設審議委員会（秋田市）会長が出席しております。また、記載がありませんが、12月25日（水）大館市農業再生協議会第2回臨時総会（大館市）会長が出席しております。

続きまして、2ページをお開きください。

報告第1号 貸借の合意解約通知について

農地法第18条第6項の規定による貸借の合意解約通知があったので報告する。

3ページの総括表をご覧ください。

下段となります。合計件数79件、田の599,356.37㎡、畑の6,942㎡、となります。

4ページからの内訳ですが、秋田県農業公社を通じて借人に売るため2件、4ページNo.1、No.2、秋田県農業公社を通じて売買するため2件、5ページNo.3とNo.4です。借人に売るため5ページNo.5と6ページNo.6です。ここで訂正ですが、借人の子に売るため2件、6ページNo.7とNo.8、借人に売るためと記載しておりますが借人の子に売るために訂正してください。贈与するため1件、7ページNo.9、売買するため4件、7ページNo.10～8ページNo.13まで、農地法第3条を通して貸借するため2件、8ページNo.14と9ページNo.15、他に貸すため45件、9ページNo.16～26ページNo.60まで、中間管理機構に貸すため4件、26ページNo.61～27ページNo.64まで、自作するため2件、28ページNo.65とNo.66、借人が経営規を模縮小するため12件、28ページNo.67～32ページNo.78まで、耕作不便のため1件33ページNo.79となります。

続いて34ページをお開きください。

報告第2号 地目変更登記に係る登記官からの照会について

次のとおり、登記簿上の地目が農地である土地の農地以外への地目変更登記に係る登記官からの照会について回答したので報告する。

35ページNo.1～41ページNo.71が内訳となります。

報告は以上となります。

議長

ただいまの事務局の報告について、ご意見、ご質問等ございませんか。

～意見・質問の声なし～

議長

ないようですので、議事に移ります。

議長

初めに、議案第1号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

42 ページをお開き願います。

議案第1号 賃借権設定及び使用貸借の権利設定の許可申請について（農地法第3条）

農地法第3条の規定による賃借権設定及び使用貸借の権利設定の許可申請があったので、この可否について意見を求める。

43 ページをお開き願います。

借受事由その他の2件で、田の10筆23,654㎡であります。

内訳は、44ページのNo.1とNo.2となります。また、別添の農地法3条の調査書をご覧ください。農地法第3条第2項第1号から第6号の不許可事項には該当しておらず、許可要件のすべてを満たすものと考えております。

ご審議、よろしく願いいたします。

議長

議案第1号 について審議いたします。

何かご意見ご質問等ございませんか。

議長

ないようですので、議案第1号 について原案のとおり決してご異議ござい

ませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議長

次に、議案第 2 号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

45 ページをお開き願います。

議案第 2 号 所有権移転の許可申請について（農地法第 3 条）

農地法第 3 条の規定による所有権移転許可申請があったので、この可否について意見を求める。

46 ページをお開き願います。

受贈の 3 件、市有地の譲渡 1 件、経営拡張の 9 件で、計 13 件で、田の 39 筆 62,506 m²、畑の 7 筆 5,213 m²、合計面積 67,719 m²となっております。

47 ページのNo.1～No.3 が受贈、48 ページのNo.4 が市有地の譲渡、48 ページのNo.5～51 ページのNo.13 までは経営拡張となっております。

また、別添の農地法 3 条の調査書をご覧ください。全ての件について、農地法第 3 条第 2 項第 1 号から第 6 号の不許可事項には該当しておらず、許可要件のすべてを満たすものと考えております。

以上ご審議、よろしくお願いいたします。

議長

議案第 2 号の審議に入る前に、農業委員会等に関する法律第 31 条第 1 項の規定により、議案の審議に参加できない案件については、個別に退席して頂いて審議したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

議長

はじめに『議案第 2 号 No.1～9、No.12～13』について審議します。

何かご意見ご質問等ございませんか。

議長

ないようですので、『議案第 2 号 No.1～9、No.12～13』について、原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議長

次に、『議案第 2 号 No.10～11』を審議します。

恐れ入りますが、議席番号 10 番 石山 委員は退席願います。

(10 番 石山 委員 退席)

議長

何かご意見ご質問ございませんか。

議長

ないようですので、『No.10～11』について原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議席番号 10 番 石山 委員は入室をお願いします。

(10 番 石山 委員 入室し着席)

議長

『議案第 2 号』について、原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議長

次に、議案第 3 号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

52 ページをお開き願います。

議案第 3 号 転用に係る許可申請について（農地法第 4 条）

農地法第 4 条の規定による転用許可申請があったので、大館市長に送付するにあたり意見を求める。

53 ページをお開き願います。

転用事由は一般住宅への許可申請が 1 件で、畑の 1 筆 499 m²であります。内訳は 54 ページとなります。事務局からは以上です。

議長

ただ今の事務局の説明に関連して、No.1 の現地調査の結果を議席番号 7 番の 小林 委員よりご報告願います。

7 番(小林 委員)

7 番の小林 大樹 です。

議案第 3 号No.1 について、去る 1 月 7 日に石山 元一 委員と事務局 1 名の 3 名で現地を確認してまいりましたので報告いたします。

申請者の自宅が老朽化してきており新築を計画したが現在の場所では道路等の不便なことが多いことから、同じ町内の自分の土地に住宅を建築するものです。

申請地は別紙資料の位置図になります。

この場所は、達子森野球場から西に約 200m に位置する住宅付近で周辺農地が 10ha 未満の小集団の生産性の低い第 2 種農地であります。

雪で現地確認ができなかったことから所有者からの聞き取りをし保全管理しているとのことを確認しました。

55 ページの配置図にありますように、転用にあたって、申請地は、農業

振興地域農用地区あるため除外申請により農用地区域外としてから進めており、盛土を 50cm 行い、北側は、市道の高さに合わせ、西側、東側、南側には鉄筋コンクリート擁壁を設置して土砂流出を防ぎます。

雨水排水は水路放流とし、汚水や生活雑排水は、合併浄化槽を設置して放流する計画であることから問題が無いものとみてまいりました。

以上、皆様方のご審議をよろしくお願いいたします。

議長

ただ今、小林 委員から、現地調査の結果報告があった『議案第 3 号 No.1』について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

議長

ないようですので、議案第 3 号 について原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり許可相当と決することとし、大館市長へ送付することとします。

議長

次に、議案第 4 号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

56 ページをお開き願います。

議案第 4 号 賃借権の設定による許可申請について（農地法第 5 条）

農地法第 5 条の規定による転用を伴う使用貸借による権利の設定許可申請があったので、大館市長に送付するにあたり意見を求める。

57 ページをお開き願います。

転用事由は農業用施設用地の 1 件で、田の 1 筆 703 m²であります。内訳は

58 ページとなります。事務局からは以上です。

議長

ただ今の事務局の説明に関連して、No.1 の現地調査の結果を議席番号 10 番の 石山 委員よりご報告願います。

10 番(石山 委員)

10 番の石山 元一 です。

議案第 4 号No.1 について、去る 1 月 7 日に小林 大樹 委員と事務局 1 名の 3 名で現地を確認してまいりましたので報告いたします。

申請者は、圃場整備事業で整備された農地の営農者であり、今年度から作付け出来る状況となり、出荷まで対応していくために農業用施設を建築するものです。

申請地は別紙資料の位置図になります。

この場所は、長面橋から北に約 340m に位置する第 1 種農地で、圃場整備中でありました。

59、60 ページの配置図にありますように、申請地は、圃場整備事業の整備中であり、また、換地が行なわれていない状況での転用であります。農業振興地域農用地区であるため除外申請により農用地区域外としてから進めており、計画では雑種地として整地し農地には被害が無いようにします。

農業用施設としてライスセンターと資材置場であることから生活雑排水は無いが、汚水は簡易トイレを設置し対応することとしており、雨水は自然流下とする計画であることから問題が無いものとみてまいりました。

なお、圃場整備事業における転用目的について秋田県知事から証明、確約を得ており、当該地域は、大館土地改良区の管理地域であり申請、承諾を得ています。

以上、皆様方のご審議をよろしくお願いいたします。

議長

ただ今、石山 委員から、現地調査の結果報告があった『議案第 4 号 No.1』について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

16 番(阿部 委員)

内訳に用悪水路とあるが、これはどういう意味なのか教えて欲しい。

事務局（工藤係長）

現況の公図は添付しておりませんが、市が所有する用悪水路を一体利用して転用するため標記したものです。

16番(阿部 委員)

用悪水路とは名称か。字を見ると、悪い水路ととらえてしまう。

事務局（工藤係長）

名称です。

16番(阿部 委員)

面積が40坪近いが、距離があるということか。

事務局（工藤係長）

距離があります。

16番(阿部 委員)

わかりました。

議長

他にありませんか。

2番(渡邊 委員)

ライスセンター、農業用施設は、圃場整備事業関連の建設か。基盤整備中との報告があった。

事務局（渡辺局長）

下内川西地区一帯で基盤整備事業を行っているが、事業に関連しない単独事業としての建設です。

2番(渡邊 委員)

わかりました。

議長

他にありませんか。

17番(畠山 委員)

添付資料の換地計画原案では、今回申請箇所以外にも非農用地が結構あるが内容はわかるか。

事務局（渡辺局長）

基盤整備区域の整備前の土地の中に非農用地や雑種地があったため、区域のはじめにあった田と交換してはじめの方に非農用地や雑種地を配分したためです。

17番(畠山 委員)

今回の転用とは別に、田との交換となるのか。

事務局（渡辺局長）

基盤整備区域では、最近では上川沿地区でも宅地との交換があり、同様の交換で面積の増減ありません。

17番(畠山 委員)

わかりました。

議長

他にありませんか。

議長

ないようですので、議案第4号 について原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり許可相当と決することとし、大館市長へ送付することとします。

議長

次に、議案第5号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

61 ページとなります。

議案第5号 農用地利用集積計画の決定について（利用権設定）

農用地利用集積計画について、大館市長から決定依頼があったので、この可否について意見を求める。

なお、土地改良法第3条第1項第2号の規定による申し出があったときは、これを承認することについて併せて意見を求める。

62 ページをお開き願います。

令和6年度農用地利用集積計画（第10号）「新規」であります。

契約期間3年が5件、5年が12件、6年が6件、10年が98件となっておりますが、総会前に諸事情により取り下げがありましたので、こちらを96件に訂正をお願いします。失礼しました。件数は98件で変わりません。面積の変更で、田の面積656,103.07㎡を655,415.07㎡と訂正願います。それに伴い、10年の合計面積を732,517.07㎡と訂正願います。あわせて田の合計面積を794,321.33㎡と訂正願います。畑の合計面積3,111㎡は変更ありません。内訳については63ページから70ページですが、取り下げ箇所をご説明いたします。67ページの5段目、新-502の賃貸借、権利の設定をする土地、早口字神社下31外5筆が外3筆となっております。面積ですが11,168.00㎡に訂正願います。

利用集積計画書や確約書、営農計画書で要件はすべて確認済みであることを申し添えます。

議長

訂正については了解ですか。

局長

続きまして71ページをお開き願います。

令和6年度農用地利用集積計画（第10号）「再設定」です。契約期間1年が2件、3年が33件、5年が29件、6年が16件、7年が1件、10年が69件で、田の合計面積898,214.35㎡、畑の合計面積34,544㎡であります。内訳は72ページから81ページとなります。

また、利用集積計画書や確約書、営農計画書で要件はすべて確認済みであることを申し添えます。

以上、ご審議よろしくお願いたします。

議長

議案第 5 号の審議に入る前に、農業委員会等に関する法律第 31 条第 1 項の規定により、議案の審議に参加できない案件については、個別に退席して頂いて審議したいと思いますので、よろしく申し上げます。

議長

はじめに『議案第 5 号 新-430~435 及び新-437~550、再-54~203』について審議します。

何かご意見ご質問等ございませんか。

2 番(渡邊 委員)

新-457 に採草地の案件があるが、牛の放牧など状況を教えて欲しい。

事務局 (渡辺局長)

採草地ですが、牛を放してもよいところという定義です。通常、牧草を植えるのであれば田か畑になり、放牧はできない。採草地は草を収穫するほかに放牧で草を食べさせることができると規定されています。生えているのはどちらも牧草になり、牛を放してもよいかどうかの違いとなります。

2 番(渡邊 委員)

田には放牧できないということか。

事務局 (渡辺局長)

はい、放牧はできません。そのかわりに、田に牧草を植えると経営所得安定対策で播種すると 10 アール当たり 3 万 5 千円、播種しないと 10 アール当たり 1 万 5 千円の補助金がもらえます。採草地はもらえません。

2 番(渡邊 委員)

わかりました。

議長

他にありませんか。

議長

ないようですので、『議案第 5 号 新-430~435 及び新-437~550、再-54~203』について、原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議長

次に、『新-436』を審議します。

恐れ入りますが、議席番号9番 斎藤 委員は退席願います。

(9番 斎藤委員 退席)

議長

何かご意見ご質問ございませんか。

議長

ないようですので、『新-436』について原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議席番号9番 斎藤 委員は入室をお願いします。

(9番 斎藤 委員 入室し着席)

議長

議案第5号について、異議なしと認め、原案のとおり許可相当と決することとし、大館市長へ送付することとします。

議長

次に、議案第6号を議題とします。

事務局より議案の説明をお願いします。

局長

82 ページをお開きください。

議案第6号 農用地利用集積等促進計画(案)に対する意見聴取について

農用地利用集積等促進計画(案)について、大館市長から意見聴取依頼があったので、これを回答するにあたり意見を求める。

83 ページをお開きください。令和 6 年度農用地利用集積等促進計画（第 7 号）「新規」であります。

契約期間 10 年が 13 件、田の合計面積 82,196 m²であります。内訳は 84 ページであります。

続きまして 85 ページをお開きください。

こちらは、同計画の「再契約」で、契約期間 10 年が 11 件で、田の合計面積 86,856 m²であります。内訳は 86 ページとなっております。

続きまして 87 ページをお開きください。

こちらは、同計画の「所有権移転」となります。件数は 4 件で田の合計面積 44,198 m²、畑の合計面積 1,140 m²であります。内訳は 88 ページであります。

なお、利用集積計画書や確約書、営農計画書等で要件は確認済みであることを申し添えます。

以上、ご審議よろしくお願いいたします。

議長

議案第 6 号の審議に入る前に、農業委員会等に関する法律第 31 条第 1 項の規定により、議案の審議に参加できない案件については、個別に退席して頂いて審議したいと思いますので、よろしくお願ひします。

議長

はじめに『議案第 6 号 新-23～新-35、再-1～再-11、所-5 及び所-7～所-8』について審議します。

何かご意見ご質問等ございませんか。

議長

ないようですので、『議案第 6 号 新-23～新-35、再-1～再-11、所-5 及び所-7～所-8』について、原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議長

次に、『所－6』を審議します。

恐れ入りますが、議席番号 10 番 石山 委員は退席願います。

(10 番 石山 委員 退席)

議長

何かご意見ご質問ございませんか。

議長

ないようですので、『所－6』について原案のとおり決してご異議ございませんか。

～異議なしの声多数有り～

議長

異議なしと認め、原案どおり決することとします。

議席番号 10 番 石山 委員は入室をお願いします。

(10 番 石山 委員 入室し着席)

議長

議案第 6 号について、異議なしと認め、原案どおり許可相当と決することとし、大館市長へ送付することとします。

以上、提出議案の審議はすべて終了いたしました。

それでは事務局より当面の日程について、説明してください。

局長

89 ページをお開きください。当面の行事予定となります。

本会主催以外の会議等の行事予定で、1月22日(水)～23日(木)「全国農業担い手サミット in さが」が佐賀県で開催されます。農業委員会研修会が本庁舎で行われます。1月27日(月)秋田県農業会議第106回常設審議委員会が秋田市で開催されます。

以上となります。

議長

ただ今の行事日程について何か質問等ありませんか。

議長

ないようですので、事務局からなにかありませんか。

議長

ほかに何かありませんか。

特にないようですので、以上で議長の任を解かせていただきます。スムーズな進行にご協力いただいたことに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

係長

会長、ありがとうございました。

これを持ちまして、大館市農業委員会総会を閉会といたします。

午後 14 時 45 分終了

この会議の顛末を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 7 年 1 月 15 日

議 長

議事録署名委員 1 番

議事録署名委員 2 番

農地法第3条調査書

議案第1号 No.1	所有権移転 賃借権設定 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市櫃崎字上野道上・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市十二所字大水口・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市櫃崎字沢頭・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	する しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は農地所有適格法人であり適用なし。	する しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	する しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	する しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	する しない
第2項第6号 (地域調和)	申請地は、これまでも譲受(借)人が耕作を行っており、今後も譲受(借)人が営農に資する計画である。本件の権利の設定により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。 なお、1月5日、富樫 俊昌 農業委員と富樫 覚 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。	する しない

農地法第3条調査書

議案第1号 No.2	所有権移転 賃借権設定 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市山田字館沢・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市山田字山田・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市山田字前田・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	する しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	する しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	する しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	する しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	する しない
第2項第6号 (地域調和)	申請地は、これまでも譲受(借)人が耕作を行っており、今後も譲受(借)人が営農に資する計画である。本件の権利の設定により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。 なお、12月28日、石山 元一 農業委員と佐々木 浩 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。	する しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.1	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市山田字柏木下・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市釈迦内字高館下・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市山田字山田・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、譲渡人、譲受人の共有の土地で、これまで譲受人が耕作を行ってきた。譲渡人が相続により兄弟で権利を取得したが、管理が出来ないため、譲渡人の持分を譲受人が取得して今後も営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、12月28日、石山 元一 農業委員と佐々木 浩 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.2	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町中野字下長内沢・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市比内町中野字五日市袋・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市比内町扇田字大谷地・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>譲渡(貸)人と譲受(借)人は親子であり、申請地は、これまでも譲受(借)人により耕作が行われいる。本申請は、一部の農地を生前贈与して営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、1月6日、渡邊 久雄 農業委員と渡邊 修一 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.3	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町中野字清水川・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市比内町中野字五日市袋・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市比内町扇田字大谷地・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>譲渡(貸)人と譲受(借)人は祖父と孫の関係であり、申請地は、これまでも譲受(借)人により耕作が行われている。本申請は、一部の農地を生前贈与して営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、1月6日、渡邊 久雄 農業委員と渡邊 修一 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.4	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町笹館字中清水・・・		
申請者	譲渡（貸）人	住 所	氏 名
		大館市字中城・・・	〇〇 〇〇
	譲受（借）人	住 所	氏 名
		大館市比内町笹館字笹館・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまで譲受(借)人が自己所有地として耕作を行ってきたが、譲渡(貸)人の土地であることが判明したことから、譲渡(貸)人から権利を取得し、今後も営農に資する計画である。周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、12月28日、菅原 一成 農業委員、岸 恭司 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.5	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市釈迦内字下内東・・・外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		東京都葛飾区南水元3丁目・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市字長木川南・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまでも譲受(借)人が耕作を行っており、今後も譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考え。</p> <p>なお、12月27日、虻川 廣之 推進委員、畠山新悦 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.6	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市沼館字藤蕪・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大阪府堺市北区百舌鳥本町1丁目・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市沼館字藤蕪・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまでも譲受(借)人が耕作を行っており、今後も譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考え。</p> <p>なお、12月27日、虻川 廣之 推進委員、畠山新悦 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.7	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町笹館字羽立・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市比内町笹館字羽立・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市比内町笹館字羽立・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、譲渡(貸)人が農業の廃止にあたり、譲受人を探していた。今後は、譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、12月28日、菅原 一成 農業委員、岸 恭司 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.8	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町笹館字水無・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		東京都東大和市清水6丁目・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市比内町笹館字水無・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、譲渡(貸)人が相続により所有した土地であるが県外に住んでいるため譲受人を探していた。今後は、譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考えられる。</p> <p>なお、12月28日、菅原 一成 農業委員、岸 恭司 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.9	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市赤石字赤石下・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市赤石字屋布・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市赤石字屋布・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は農地所有適格法人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまでも譲受(借)人が耕作を行っており、今後も譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考え。</p> <p>なお、1月6日、富樫 俊昌 農業委員、富樫 覚 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.10	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市山田字赤坂・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市花岡町字根井下・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市山田字向館・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまでも譲受(借)人の世帯で耕作を行っており、今後も譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、12月24日、佐々木 浩 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.11	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市山田字上畑の沢・・・ 外・筆		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市岩瀬字羽貫谷地中島・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市山田字向館・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、これまでも譲受(借)人の世帯で耕作を行っており、今後も譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、12月24日、佐々木 浩 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.12	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市長坂字屋敷・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		秋田市寺内字三千刈・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市長坂字屋敷・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、譲渡(貸)人が農業の廃止にあたり、譲受人を探していた。今後は、譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、1月5日、高坂 千悦 農業委員、佐藤 稔 推進委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない

農地法第3条調査書

議案第2号 No.13	☒ 所有権移転 ☐ 賃借権設定 ☐ 使用貸借権設定		
土地の所在	大館市比内町中野字下五日市・・・		
申請者	譲渡(貸)人	住 所	氏 名
		大館市比内町中野字五日市袋・・・	〇〇 〇〇
	譲受(借)人	住 所	氏 名
		大館市比内町中野字五日市袋・・・	△△ △△
作成者	農業委員会事務局		

条 項		不許可事項の該当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受(借)人の経営農地はすべて耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する家族の状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用できるものと見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第2号 (農地所有適格法人以外の法人)	譲受(借)人は個人であり適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので適用なし。	☐ する ☒ しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受(借)人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。	☐ する ☒ しない
第2項第5号 (転貸禁止)	許可申請に係る農地は譲渡(貸)人の所有農地であり転貸には当たらない。	☐ する ☒ しない
第2項第6号 (地域調和)	<p>申請地は、譲渡(貸)人が農業の廃止にあたり、譲受人を探していた。今後は、譲受(借)人が経営規模を拡大する目的で本申請地を取得し、営農に資する計画である。本件の権利取得により、周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものとする。</p> <p>なお、1月30日、藤盛 久登 農業委員、浅利 瑞穂 農業委員が現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認した。</p>	☐ する ☒ しない